

会 員 各 位

特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会
会長 笹間 滋代

第17回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座
令和4年度第2回在宅歯科衛生士養成研修会について（ご案内）

深秋の候、会員の皆様におかれましてはますますご清祥の事とお喜び申し上げます。
平素は会務運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、標記研修会を下記のとおり開催いたします。今回は、痛みなく・確実にプロフェッショナルケアを行う方法についてピンポイント演習を交えた内容になります。ご多用中とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

記

日 時 令和5年1月22日（日）10:00～12:00
場 所 津商工会議所 5階会議室（津市丸之内29-14）
講 師 稲垣歯科医院 歯科衛生士 石井 里加子 先生
内 容 「障害者歯科より学ぶ ～歯周治療が難しい人へのアプローチ～」
持参物 ペットボトルキャップ、スクレーパー（シックルまたはキュレット）
定 員 65名【先着順】

（お申し込み多数の場合、お断りさせていただくことをご了承ください。）

申込方法 下記のURLまたはQRコードからお申し込みください。

URL <https://forms.gle/z4NWK2uBq7Pu7MFJ6>

QR コード

申し込み期間 11月23日（水）から12月25日（日）

※先着順のため、定員になり次第締め切りとなります。



- 会場ではマスク着用をお願いいたします。
- 入室前に手指消毒、検温にご協力をお願いいたします。
- 当日、体調がすぐれない方はご参加をお控えください。

※悪天候等により、やむなく中止となる場合は、前日18時までに三重県歯科衛生士会ホームページに掲載いたします。

お問い合わせ先 三重県歯科衛生士会事務局
E-mail mie-dh@infoseek.jp

【抄録】 わが国における障害者歯科診療は、1965年頃から大学病院や歯科医師会の口腔保健センターなどで広がりはじめ、現在では、地域格差はあるものの、障害があっても幼少期より定期的な予防管理を受けている人が増加し、う蝕を起因とした歯の早期喪失は減少しつつあります。しかし歯周病に関しては、2010年頃より臨床や研究報告が増えはじめてきましたが、現在も障害者歯科分野の大きなテーマの一つとなっています。歯周治療がなかなか普及しない背景には、セルフケアによるプラークコントロールが困難な上に、先のとがった歯周プローブを用いた歯周組織検査や鋭利なスクレーラーを用いる処置や治療を安全に行うことの難しさが挙げられます。

私が障害者歯科に携わり始めた当時は、障害者歯科の教科書はなく、早期に重篤な歯周疾患を発症する Down 症候群患者においては「果たして歯周病を予防することができるのか…」その可能性すらわからない状況でした。また、薬物性歯肉増殖症を伴う歯周病患者においても、副作用のある薬剤を服用したまま歯周治療しても「どこまで改善するのか？」ゴールもわからず迷いながら歯周治療にあたっていました。そのような中、長年勤務してきました東京都立心身障害者口腔保健センターでは、2005年日本歯周病学会認定歯科衛生士制度発足を機に、歯周治療の質の向上を図ることを目的に、スタッフ研修や歯周治療における診療システムの構築を行い、組織的に障害者に対する歯周治療に取り組んでまいりました。その結果、多くの歯周病のリスクファクターを抱え、セルフケアの困難な障害者においても歯周病の改善・維持が可能になり、QOL（生命・生活・人生の質）の向上に大きく寄与できることを経験してきました。そして、長期的に障害児者の歯周治療に取り組む学んだことは、プラークコントロールの重要性であり、①対象者に合わせたセルフケアを支援すること、②痛みなく・安全で・確実にプロフェッショナルケア（広義）を行うこと、でした。それは、障害者に特化したことではなく「基本の大切さ」であり、障害の有無にかかわらず全ての国民に通じることだったのです。

そこで本研修では、障害者歯科を通じて学んだセルフケアの支援方法について解説し、痛みなく・確実にプロフェッショナルケアを行う方法について演習を交えながら再確認したいと思います。

【略歴】	【著書】
1985年 日本医学院歯科衛生士専門学校 卒業 1985年 ニューグリーン歯科 勤務 1986年 日本医学院歯科衛生士専門学校 勤務 〃 東京都立心身障害者口腔保健センター 勤務 1995年 東京都立心身障害者口腔保健センター歯科衛生士主任 1999年 東京都立心身障害者口腔保健センター 歯科衛生士主査 2007年 放送大学教養学部 卒業 2012年 新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命科学専攻 口腔健康科学講座小児歯科学分野博士 課程修了 2016年 九州看護福祉大学 看護福祉学部 口腔保健学科 准教授 2017年 九州看護福祉大学 看護福祉学部 口腔保健学科 教授 2021年～フリーランス ▶熊本県歯科医師会口腔保健センター ▶稲垣歯科医院, MER インディバクリニック、他 2008年 日本歯周病学会 認定歯科衛生士取得 2008年 日本障害者歯科学会 指導歯科衛生士 2009年 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（障害者歯科）取得 2011年 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（摂食・嚥下リハビリテーション）取得 2004年～日本障害者歯科学会 代議員（旧評議員） 2008年～日本障害者歯科学会 理事 2022年～日本障害者歯科学会 認定歯科衛生士審査委員会 委員長, 研修委員会 委員 2009年～2010年, 2019年～2020年 日本歯周病学会 歯科衛生士関連委員会 委員	「最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版」 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社 「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論」 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社 「小児の摂食・嚥下リハビリテーション 第2版」 田角勝, 向井美恵編著 医歯薬出版株式会社 「歯科衛生士のための障害者歯科 第3版」 緒方克也監修 医歯薬出版株式会社 「スペシャルニーズデンティストリーハンドブック 障害者歯科医療ハンドブック改訂版」 東京都立心身障害者口腔保健センター（指定管理：公益社団法人東京都歯科医師会） 一世印刷 「子どものお口のスペシャリストになろう」 奥猛志, 田中栄一, 早崎治明編集 デンタルダイヤモンド社 「障害者の歯科治療 臨床編」 一般社団法人日本障害者歯科学会編 永末書店 「歯科衛生士講座 歯周病学 第4版」 沼部幸博, 齋藤淳, 梅田誠編集 永末書店 「歯科衛生士講座 障害者歯科学 第3版」 柿木保明, 野本たかと, 梶美奈子編集主幹 永末書店 ※全て共著 第51回秋季日本歯周病学会(2008年10月19日)ベストハイジニスト賞 受賞 第102回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会(2017年9月10-13日) Dental Hygiene 部門(ライオン歯科材賞)優秀賞 受賞